

はばたき

特集

2016.3
第28号

男女いきいき蒲郡
明日へ！
帆に新しい風を

これってデートDVかも!?

ひょっとしてDVかも?と感じたら、
迷わず専門機関に相談してください。



脳科学者の澤口俊之さんをお招きして、
男女共同参画講演会を開催しました。

男女共同参画推進事業報告

(平成27年7月～平成28年1月)

- ・デートDV防止講座
- ・男女共同参画市民提案型協働委託事業
- ・講演会
- ・婚活セミナー

男女共同参画啓発事業

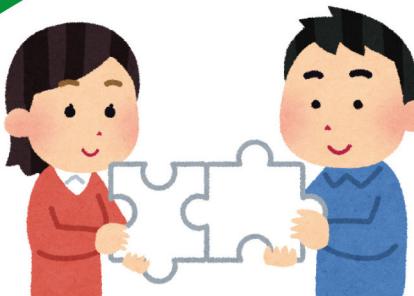
川柳・ポスター・習字の入賞作品決定！

DV(ドメスティック・バイオレンス)は配偶者や恋人など親密な関係にある人たちの間で起こる暴力のことをいいます。しかしここ数年、結婚していない若い恋人間で起こるデートDVが社会問題になっています。暴力は殴る、蹴るなどの身体的なものばかりでなく、いろいろなタイプがあります。

これって かも!? デートDV

デートDVは、誰にでも起こりうることで、はた目には単なる痴話げんかのように見えることがあります。周りや本人もそれが暴力であることに気づいていないこともあります。

デートDVとは一体どのようなものでしょうか。



精神的暴力

- 機嫌が悪くなると無視する
- 「ブス」「バカ」などの暴言を吐く
- 大声でどなる など



身体的暴力

- 殴る、蹴る、突き飛ばす
- 髪を引っ張る
- 物を投げつける など

デートDVって何?

社会的暴力

- 行動や服装を細かくチェックしたり、指示する
- 友達関係を制限する
- 電話の着信履歴やメールを勝手にチェックする など

経済的暴力

- お金を借りたまま返さない
- デート代などをいつも払わせる
- 無理やりものを買わせる など

性的暴力

- 無理やり性的行為をする
- 避妊に協力しない
- アダルトビデオなどを強引に見せる など

上の項目のうち、恋人との関係でいくつかはてはまる場合はデートDVかもしれません。

内閣府の「男女間における暴力に関する調査」報告書(平成27年3月)によると、女性の2割、男性の1割が「交際相手からの被害経験あり」(身体的、精神的、経済的、性的のいずれかの被害)と答えています。

デートDVの背景

デートDVが起こる背景には、「男は強くてましく、女は優しく控えめに」「女は男に従うもの」という昔からの固定観念があることが考えられます。また、理由があれば暴力を振るっても仕方がないという暴力を肯定する意識もデートDVにつながります。

さらに、交際相手に対して「特別」「二人で一緒」という価値観を重視するあまり、相手を信頼し尊重するよりも、嫉妬や思い込みから相手を束縛することが「恋愛」だと思っている若い人たちもいます。



デートDV？

デートDVは親密な交際関係で起こるものなので、その行為が暴力だと気づかない場合があります。また、「私のことを思ってくれているのだから」「自分が悪いから」など、問題を1人で抱え込んでしまいかがちですが、その間に暴力がエスカレートしてしまう恐れがあります。少しでも「怖い」とか「つらい」と感じたら、思いきって周りの人に相談してください。そして相談を受けた場合は相談した本人を責めないで、専門窓口に相談するよう勧めてください。

暴力は対等でない力関係で、どんな理由があつても許されません。1人の人間として「自分らしく」いることが大切です。思いやりを持ちお互いの個性や人格を尊重できる関係を築いていきましょう。

DV相談



～ひとりで悩まないで 相談が解決の一歩です～

相談実施機関	電話番号	受付時間	内 容
愛知県女性総合センター	☎052・962・2527	月～金曜日 午前9時～午後9時 土・日曜日 午前9時～午後4時	相談員による 電話相談 (面接相談もあり)
	☎052・962・2528	月曜日 午後2時～3時30分 ※第1・3・5月曜日は女性弁護士が対応	弁護士による DV専門電話相談
東三河駐在室 (東三河福祉相談センター内)	☎0532・54・5111 (内線301)	月～金曜日 午前9時～午後5時	相談員による 電話相談(予約制)
愛知県警察本部	☎052・961・0888	24時間受付	ストーカーからの 被害に関する相談

※身の危険を感じたときや、緊急の時は、迷わず110番通報しましょう！

男女共同参画推進事業報告

平成27年7月～平成28年1月

デートDV防止講座

ところ 蒲郡高等学校



講師 具 ゆり氏
名古屋YWCA
フェミニストカウンセラー

7月3日(金)、12月14日(月)に蒲郡高等学校の生徒約800人を対象に「デートDV防止講座」を実施しました。“恋する2人に大切なこと=お互いを尊重する関係”と題して、若い恋人同士で起こる言葉や態度によるデートDVについて、1人で抱え込まずに周囲へ相談することの重要性と暴力を認めない、許さない意識を持つこと、さらには友達間でもお互いを尊重することの大切さについてお話をいただきました。

【生徒の感想】

- ・対等な関係で男女交際したい
- ・相手の気持ちも考えながら自分の意見もしっかり言うことが大切だと思った。
- ・デートDVは自分で気づかないことがあるから、周りの人の力が大切だと感じた。
- ・女性は約5人に1人受けたことがあると知って驚いた。
　　デートDVは身近で恐ろしいものだと知った。など



企画・運営 蒲郡にじの会

人づくりから考えるまちづくり～地域のことをみんなで考えよう～

男女共同参画の視点から考える、まちづくりのセミナーを開催しました。

1回目

「人が選び住みたくなる地域とは」 11月19日(木)

まちづくりには女性や若者の参加が不可欠である。義務ではなく権利として、町内会の運営や活動に関わり、“地域をつくるのは自らであるという当事者意識”が必要であるという鈴木先生のお話の後、参加者で自分たちの地域における実態について情報交換しました。



鈴木 誠氏

愛知大学地域政策学部教授



坂倉 加代子氏
NPO法人
四日市男女共同参画研究所代表

2回目

「防災とまちづくり～女性の視点を取り入れよう～」 11月28日(土)

防災・災害対策の計画段階から女性が参画し、災害時のリーダーは男女ペア体制で、男女の意識やニーズの違いに配慮することが必要であるとお話をいただき、地域で今後、女性の視点を取り入れていくにはどうしたらよいかについて、参加者で話し合いました。



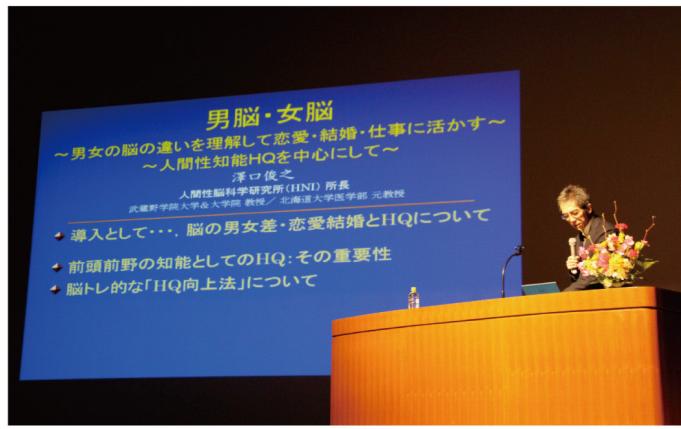
*Lectures***男女共同参画講演会**

平成28年1月31日(日)

脳科学からのアプローチ「男脳・女脳」

「ホンマでつか !?TV」でおなじみの脳科学者の澤口俊之先生をお招きして、男女の脳や心理の違いを把握し、特性を理解してともに仲よく協力して生きていくヒントについて、蒲郡市民会館大ホールで1,100人の方にご講演いただきました。

HQ(HumanityQuotient人間性知能)は、脳の最も前に位置する前頭前野と呼ぶ領域が主に担う、人間性に深く関わる知能である。HQが高いほど仕事や人間関係はうまくいき、夫婦生活も良好で人生の幸せ度が高い。HQを高めるためには脳トレよりもウォーキングなどの有酸素運動が良い。コーヒーや緑茶、ブルーベリーの摂取も効果的である。



また、男女と一緒に働くことは仕事の成果が上がりやすく、さらに家事や育児をしている男性ほど出世するという研究結果など、いろいろ興味深いお話をいただきました。

最後に「夢」をもつことが、健康で長生きの秘訣であると締めくくっていただきました。

*Seminar***婚活応援講座 婚活セミナー**

結婚を望む独身男女を対象に、婚活セミナーを開催しました。

「魅力アップ講座」平成28年1月24日(日)

午前中に女性9名、午後は男性14名の方が参加されました。

婚活は“自分磨き”とも言われています。「また会いたい」と思われるような話し方や表情、身だしなみなどのアドバイスと最近の婚活や結婚事情について、結婚相談所チアーズ代表の松尾篤氏より男女別にお話をいただきました。

そして、男は仕事、女は家庭といった昔の結婚観や固定概念にとらわれている若者や親世代がいるが、今は仕事も家事も育児も男女が協力していくという意識を持つことが大切であるとお話をされました。



結婚応援パンフレット
「結婚ってなんだろう?」

市内公共施設等で配布中。

男女共同参画啓発 川柳・ポスター・習字

入賞作品

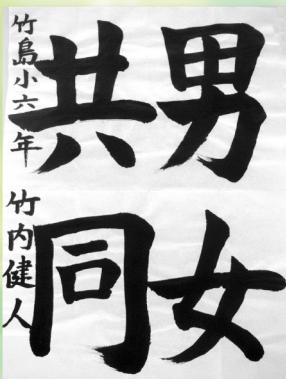
蒲郡市では男女共同参画への意識向上と理解促進のために、川柳、ポスター及び習字を募集したところ、たくさんのご応募をいただきました。

川柳は市内外より542作品（一般の部398作品、小学生の部89作品、中学生の部55作品）、ポスター・習字は市内小学校5、6年生より272作品（ポスター20作品、習字252作品）の応募がありました。選考の結果、各部門の入賞作品が決定し、それぞれ賞状と記念品を授与しました。

習字の部



最優秀賞 藤下元希さん



優秀賞 竹内健人さん



優秀賞 羽田愛海さん

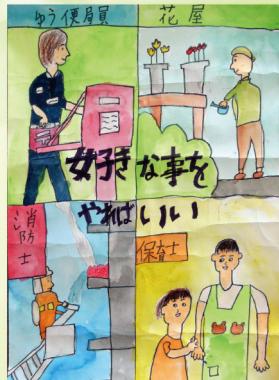
ポスターの部



最優秀賞 大場柊輝さん



優秀賞 竹内俊太朗さん



優秀賞 平野竜雅さん

川柳の部

一般の部 最優秀賞

大阪府交野市 中原 修さん

子は見てる 家事する親の 助けあい

中学生の部 最優秀賞

蒲郡市 尾崎 翔さん

考えて 男女共同の大切さ

性別で 勝手に分ける 差別だよ

蒲郡市 松山 周平さん